

守るのは、町の未来。
支えるのは、あなたの力。

団員募集中

いざというとき助け合える仲間がいる

協賛企業

TAKAMOTO DENKI

八田土地家屋調査士事務所
株式会社hakariya

株式会社 庭創

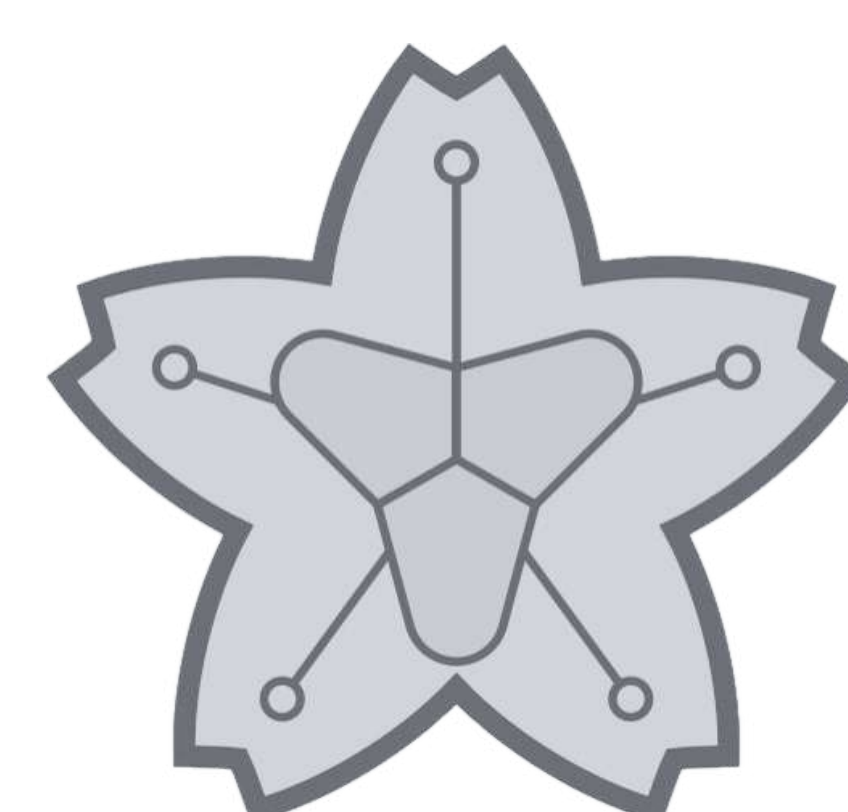
株式会社 khne

株式会社三陽重機興業

生田 雅也

大津市消防団
日吉台分団

大津市日吉台1丁目9番3号
TEL 077-578-6183



SINCE 1995
大津市消防団
日吉台分団
OTSU CITY HIYOSHIDAI FIRE BRIGADE

30th
1995-2025

大津市消防団 日吉台分団 設立30周年に寄せて

大津市消防団 日吉台分団は、
このたび設立30周年の節目を迎えました。

これもひとえに、地域の皆様のご支援と
幾多の試練を乗り越え築かれた先達の尽力の賜物です。

深く敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。

本誌は分団の歩みと矜持を刻み、未来へと継ぐためのもの。

我々が守るべきは、かけがえのないこの町の暮らし。

誇りを胸に、幾年先までもこの使命を貫いてまいります。

大津市消防団 日吉台分団 一同



目次

- 03 分団長御挨拶
- 04 沿革
- 05 消防関係者祝辞
- 07 OB祝辞
- 09 部長祝辞
- 10 消防表彰精励賞
- 11 活動記録
- 17 新規導入機材
- 18 今後の展望

日吉台分団長

御挨拶

このたび、大津市消防団 日吉台分団は設立30周年を迎える運びとなりました。これもひとえに関係各位の皆様の多大なるご支援とご尽力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

当分団は、平成3年10月に学区有志の皆様が大津市消防団 日吉台分団設立準備委員会を発足され、団員募集、説明会、個別勧誘などを積極的に推進されました。その結果、平成4年4月5日には当学区より21名の新団員が坂本分団に入団し、3年後の独立を目指し、日々訓練や防火パトロールを実施しながら火災出動の経験を重ね、消防団員としての使命を果たしてまいりました。そして、平成7年3月には大津市消防団 日吉台分団の車庫および詰所が竣工し、同年3月18日に大津市消防団 日吉台分団として23名の団員のもと、正式に独立を果たしました。それから30年の歳月が流れ、本日この記念すべき節目を迎えるに至りました。

私は歴代の先達が築かれた大津市消防団 日吉台分団の礎を守りつつ、さらなる発展を遂げ、次世代へと継承することを使命と心得ております。近年、自然災害の発生頻度は増加の一途をたどり、その被害も甚大化しております。こうした状況を踏まえ、日吉台学区の特性に適した分団活動を展開し、防火・防災訓練の充実を図るとともに、団員の消防意識向上に努めております。また、令和6年度より5年間は当学区は地域防災力充実強化対象学区に指定されました。これに伴い、学区内の医療機関や学校、自主防災会、各種団体との連携を一層強化し、防災活動の更なる充実を図るべく、日々研鑽を積んでおります。

結びに、日吉台学区民の皆様のご協力のもと、先達が築かれたこの分団の歴史と誇りを胸に刻み「わが町は我々で守る」という精神を堅持し、防火・防災活動に精励してまいる所存でございます。



第八代日吉台分団長
坂口 修一



- 1991. 10 有志により大津市消防団 日吉台分団 設立準備委員会が発足
- 1992. 04 新団員21名が坂本分団に入団
各種訓練教育や防火パトロール、火災出動などの現場経験を積む
- 1995. 03 大津市消防団 日吉台分団 設立
消防車両 配備（トヨタ ランドクルーザー70系BD型）
大津市消防団 日吉台分団詰所 及び 消防車車庫 竣工
（大津市日吉台1丁目9-3）
大津市消防団 日吉台分団 設立記念式典 開催
- 2014. 07 大津市消防団 日吉台分団詰所に土囊ステーション 完成
- 2016. 11 大津市消防団 日吉台分団 一日体験入団会 開催
- 2020. 04 新型コロナウイルス感染拡大のため活動を制限（2023年5月まで）
- 2021. 07 詰所駐車場拡幅舗装工事 完了
- 2022. 05 第27回大津市消防操法訓練大会 自動車の部 優秀選手賞 受賞
一番員 小野山博人氏、二番員 佐久本盛将氏
- 2023. 11 日吉台小学校第二学年生 地域探索授業 実施
- 2024. 05 新型消防車両 配備（トヨタ 3BF-TRY230）

CONGRATULATORY ADDRESS 消防団関係者祝辞



令和6年度 中消防署西分署長
青木 克弘

このたび、大津市消防団 日吉台分団が発足から30周年という大きな節目を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。また、安心・安全に暮らすことのできるまちづくりのため、日夜、ご精励いただいている団員の皆様に敬意を表し、深く感謝申し上げます。

大津市消防団 日吉台分団は、地元日吉台学区と坂本学区からの強い要望を受けて、平成7年3月18日に23名で発足されました。平成7年という年は阪神淡路大震災が発生した年でもあり、消防団の地域密着性や役割の重要性が再認識され、この災害を契機として消防団を中核とした地域防災力の強化が全国的に進んでおります。奇しくも阪神淡路大震災と同じ年に発足した大津市消防団 日吉台分団は、こうした時代の流れの中、強い郷土愛と奉仕の精神をもって一致団結し、災害出動のみならず訓練や広報活動にも積極的に取り組んでこられ、地域にとって非常に心強い存在となっております。

近年、社会構造や自然環境の変化等により災害は複雑多様化しており、南海トラフを起因とする巨大地震も危惧され、消防機関の果たす役割はこれまで以上に重要なものとなり、地域防災の核となる消防団への期待もますます高まっております。我々消防職員としましても消防防災体制に万全を期す所存でありますので、今後とも地域防災への変わらぬご尽力をお願い申し上げます。結びに、大津市消防団 日吉台分団のさらなるご発展と皆様方のご健勝を祈念申し上げ、発足30周年にあたってのお祝いのご挨拶とさせていただきます。



団本部 第二方面隊長
井口 清美

大津市消防団 日吉台分団30周年おめでとうございます。平成7年に新設、大津市消防団のなかでは32番目に誕生した分団と聞いております。設立までは坂本分団の中で消防団としての基礎を学ばれ、そこから独立した形で活動してこられました。設立当初はいろいろな困難があったと想像しますが、諸先輩方の努力で30年という月日が刻めたと、ご苦勞に敬意を表します。消防団活動として7日20日の広報や防火診断など、地道な見守り・啓発活動の実施により、日吉台学区では大きな災害もなく、穏やかに過ごせていると思います。これからも消防団と学区の皆様によりよい連携のもと、安全安心のまちづくりに協力してあたっていただければと思います。今後ますますの発展を祈念いたします。

団本部 西部地区副団長 小野 滋

大津市消防団 日吉台分団30周年、誠におめでとうございます。ここまで30年築き上げられたのも先輩方の努力とボランティア精神の賜物と存じます。先輩方に感謝してこれからも安全安心な町日吉台を合言葉に頑張ってください。



団本部 西部地区副団長
岡野 昌勝

このたびは、設立30周年を迎えられ、心よりお祝いを申し上げます。この喜びの節目を迎えられましたことは、歴代の分団長並びに団員の皆様の日頃の取り組みやご努力のたまものと思っております。私の地元は坂本で、日吉台が宅地に開発されている頃小学生でした。造成中のこの地に貝の化石を捜しに行っていたこともよく覚えています。大津市消防団 日吉台分団を立ち上げられる前、日吉台の諸先輩の方々は坂本分団と一緒に活動されていて、その頃からのつながりがあって現在に致っています。この日吉台分団と坂本分団との縁というものを、私はこれからも忘れることなく、大切にして引き継いでいかなければならないと思っています。全国的に消防団員の減少が続いている中、人材確保や活動等、困難な事もあると思いますが、それを乗り越え、今後のさらなるご発展をお祈りいたしております。

OB 祝辞

元西部地区副分団長
第二代分団長

呉屋 之保



大津市消防団 日吉台分団が創立30周年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

大津市消防団 日吉台分団は平成7年に「自分たちの町は自分たちで守ろう」の思いのもと、有志が坂本分団に入団し、3年間の訓練を経て設立されました。分団設立試験のような厳しい視察を乗り越え、全員が一丸となって立派にやり遂げたことを今でも忘れません。また、年1回の消防ポンプ操法訓練大会では、中年中心の分団ながらも団結し、一生懸命練習に励んだことが良い思い出です。

私は平成7年に副分団長、平成12年から18年まで分団長を務めました。当時待望していた若い世代も今では多く加入し、日々の職務とともに消防活動や地域防災にも尽力されています。30年間の歴史と伝統を受け継ぎ、さらなる活躍を願い心からお祝い申し上げます。

団地の入居が進む中、交番や消防機関の誘致を話し合う中で深夜に火災が発生しました。消防誘致の機運が高まり体育振興会を中心に団員を募集し、坂本分団で3年間の研修を経て、平成7年に大津市消防団 日吉台分団が発足しました。

研修中には日吉中学校の夜間火災を経験しました。施錠された校内に入れず裏門からの侵入を試み、暗闇を走り抜けたこともありました。炎で周囲が明るくなり、転倒の危険が減少。門を開けるも消防車は入れず、車を移動させるなどの対応のみでした。消防水利の重要性とボランティア活動の厳しさを痛感しました。設立2年目には土砂災害が発生し、以降4件の家屋火災を経験しました。若者の協力が分団継続の支えとなり、感謝しています。

第三代分団長

高村 克彦



第四代分団長
池田 進



大津市消防団 日吉台分団30周年まことにおめでとうございます。発足当時連合会より要請を受けました時は、少々戸惑いました。何もわからぬまま大津市役所駐車場でいろいろな訓練が始まり、若い消防隊員の方から厳しく指導を受けたことを懐かしく思い起こします。

後に4代目分団長を引継ぎ、団員の皆様とともに活動ができ無事職務を終えることができましたこと感謝申し上げます。これからの分団活動も日吉台住民の安心安全に寄り添って頂き益々の活躍と怪我のなきよう頑張ってください。ここに謹んで30周年に祝意を申し上げますと共に、今後とも大津市消防団 日吉台分団の更なる飛躍を切に願っています。

桜の花のたよりが聞かれるころになり、このよき季節に大津市消防団 日吉台分団30周年を迎えることに心からお祝い申し上げます。

私は1992年4月1日大津市消防団 日吉台分団に、入団致しましたので33年になります。当初は日吉台にまだ消防団詰所がなく坂本分団に日吉台分団として3年間お世話になりました。又、消防職員様と日吉台小学校グラウンドに集まり、重たい長靴での歩行訓練などの指導を受け大変でした。あるとき西分署正面に整列の中、本番の火災が発生し全員、日吉中学道場の火災現場へ出動し、頭から長靴までずぶ濡れになったことも覚えています。火災現場の悲惨さも深く痛感しております。日頃、団員の皆様には日吉台の安心、安全をお守りいただき感謝しております。今まで水揚げの悪いポンプ車から念願だった新型ポンプ車が入り、今後消防操作訓練大会や琵琶湖から中継訓練等、さらに大きく飛躍されますよう祈念いたします。

第六代分団長
岡田 健



元西部地区副分団長
第七代分団長

津田 裕之



このたびは大津市消防団 日吉台分団創立30周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。

私は発足メンバーではございませんが、発足時の大先輩たち、そして設立に携わっていただいた多くの関係各所の皆様方におかれましては、大変なご苦勞とご尽力をいただけた事に、心から尊敬の念を抱きます。今後におかれましても、関係者の方々への感謝の気持ちを忘れずに、消防団活動に取り組んでください。

末筆ではございますが、分団長をはじめ分団員の皆様のご健勝と未来に向けて益々のご発展をお祈りいたします。

部長祝辞

CONGRATULATORY ADDRESS



1 部 奥村 顕一 OKUMURA KENICHI

大津市消防団 日吉台分団、創立30周年を迎え謹んでお祝い申し上げます。歴代OB様、関係者の皆様と皆で喜びたいです。大津市消防団 日吉台分団として、今後も時代の流れにそった活動、地域に期待される消防団となる様に努力して参ります。

SAKUMOTO MORIMASA 2 部 佐久本 盛将

大津市消防団 日吉台分団が創設30周年を迎え、これまでの歩みを振り返り、多くの方々のご支援とご尽力に心より感謝申し上げます。地域の安全を守るという使命のもと、30年にわたり多くの団員が熱意をもって活動してまいりました。先輩方が築いてこられた伝統と誇りを受け継ぎ、これからの未来もより一層の訓練の充実と団員の育成、そして地域との連携強化を図り、より頼りにされる消防分団を目指してまいります。結びに、本分団の30周年を迎えるにあたり、ご支援くださったすべてのみなさまに心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



3 部 波々伯部 人士 HOHOKABE HITOSHI

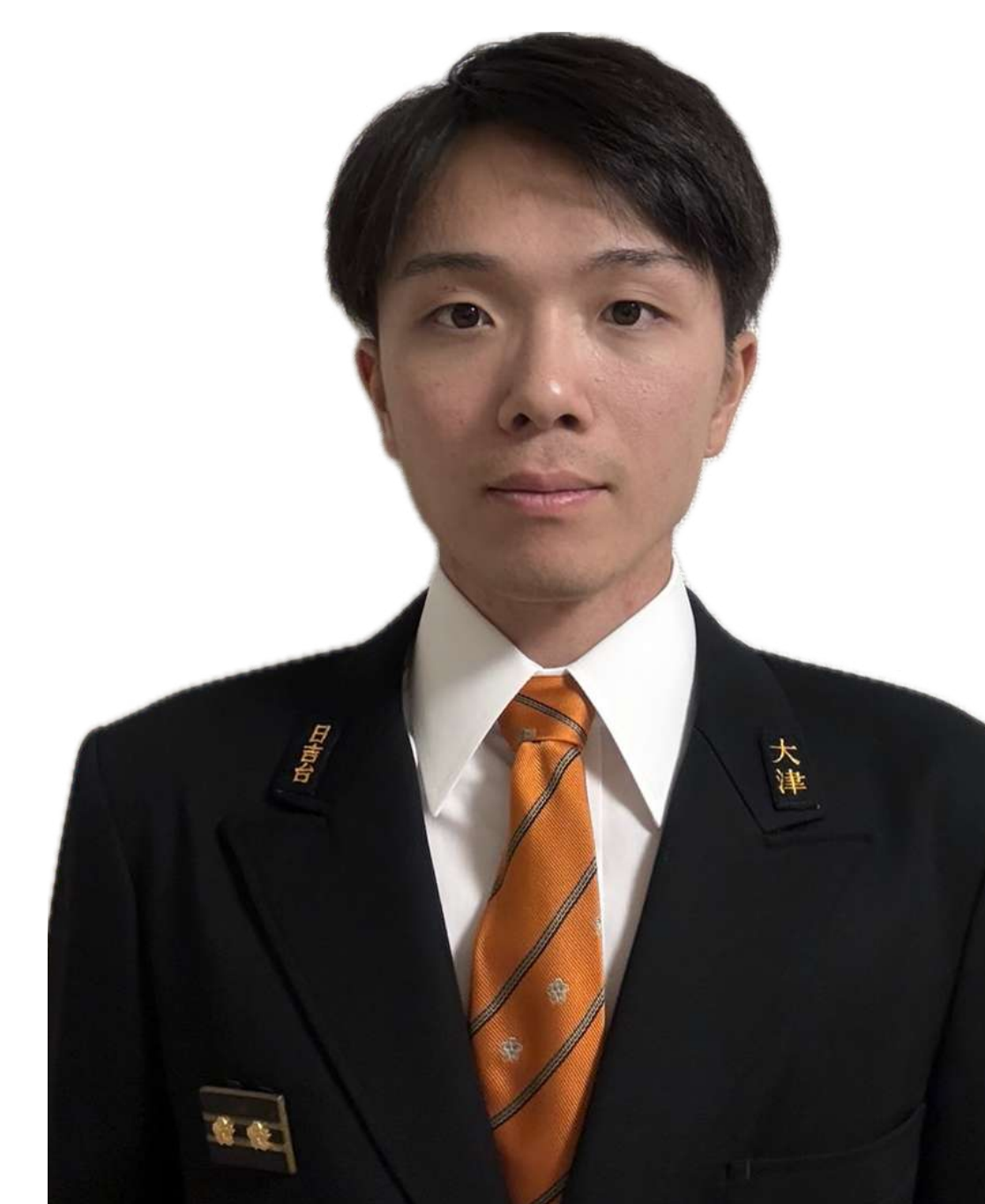
大津市消防団 日吉台分団が30周年を迎えることができましたのは、地域の皆様のご支援のおかげです。これまでの活動に感謝し、今後も地域の安全を守るため、一層精進してまいります。

ONOHAMA HIROTO 4 部 小野山 博人

大津市消防団 日吉台分団設立30周年おめでとうございます。仕事柄、諸先輩方の元気で様々な場面で活躍されるお姿を見かけると、このバイタリテイのある方達だからこそ分団設立ができたんだろうと刺激を頂いております。我々現役団員もOBの皆さんの意志を引き継いで頑張りますので、今後ともよろしくお願いいたします。



令和4年1月9日大津市消防出初式において、滋賀県消防協会より精励金賞を受賞いたしました。これも偏に、日吉台学区の皆様の消防団に対するご理解とご支援、また先輩方のご指導の賜物です。心よりお礼申し上げます。今後も、この受賞の榮譽に恥じぬように消防団活動に尽力してまいります。



このたびは身に余る榮譽ある表彰を賜り、大変ありがたく、また身の引き締まる思いです。この受賞は、これまでご指導くださった諸先輩方、共に活動する仲間、そして地域の皆様のご支援があってこそそのものです。心より感謝申し上げます。これからも地域の安全・安心を守るために尽力してまいります。本受賞を励みに、さらなる精進を誓い、感謝の言葉とさせていただきます。



このたび、精励銅賞を受賞することができ、大変光榮に思います。先輩方のご指導、そして地域の皆様の支えがあってこそその受賞だと心から感謝しています。この名譽に恥じぬよう、これからも消防団活動に全力で取り組み、地域の安心、安全を守ってまいります。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

消防表彰 精励賞

FIREFIGHTER AWARD

活動 記録

1995-2025
HIYOSHIDAI FIRE BRIGADE



大津市消防団 日吉台分団 詰所 竣工式典
1995年3月18日 分団 詰所

1995



大津市消防団 日吉台分団 詰所 竣工祝賀会
1995年3月18日 日吉台市民センター



第16回 大津市消防操法訓練大会
2009年11月1日 びわこ競輪場駐車場

2009

2010



日吉台学区夏まつり 日吉台御輿巡行警備活動
2010年8月7日 日吉台学区

2016



日吉台学区自主防災訓練
2016年11月6日 日吉台小学校



大津市消防団 日吉台分団 一日体験入団
2016年11月6日 分団詰所

2017



第24回大津市消防操法訓練大会 小型ポンプの部出場
2017年6月4日 大津地方卸売市場



大津市消防出初式
2017年1月7日 大津なぎさ公園

活動 記録

1995-2025
HIYOSHIDAI FIRE BRIGADE



分団自主訓練 ロープ結索訓練
2020年9月26日 分団詰所

2020



日吉山王祭 真榊神事 防火警備
2020年3月27日 分団詰所

2022



第27回
大津市消防操法訓練大会
自動車の部出場
一番員・二番員
優秀選手賞受賞
2022年5月29日
大津地方卸売市場

2023



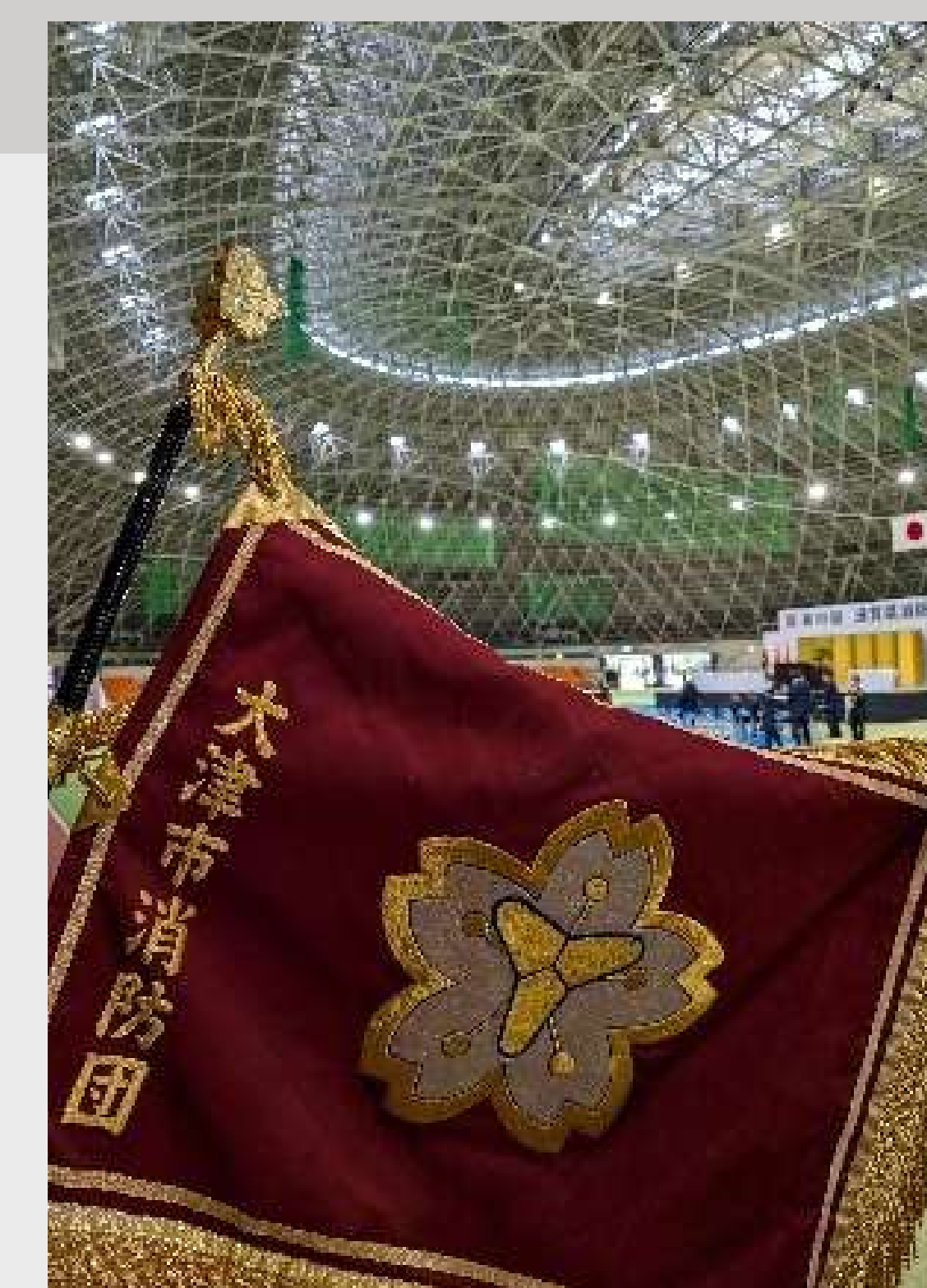
日吉台小学校 地域探検授業
第二学年分団詰所見学
2023年11月9日 分団詰所



新年祝賀会
2025年1月5日 雄琴グランドホテル



大津市消防出初式
2025年1月5日 大津なぎさ公園



第69回滋賀県消防大会出場 2024年10月5日 長浜バイオ大学ドーム

2024

活動 記録

1995-2025
HIYOSHIDAI FIRE BRIGADE



日吉台学区自主防災訓練
2024年11月6日 日吉台小学校

2025



大津市消防団 日吉台分団
新消防車両引き渡し
2024年4月28日 中消防署

新規導入機材

Newly introduced equipment

静かなエンジン音

オートマ化

重ステからパワステへ

エアコン付き



2025

1995

ポンプの様子を
デジタルで可視化

ワンタッチで揚水

明るいLEDライト



今後の展望

Future prospects

日吉台分団 副分団長

HATTA AKIHIRO
八田 章宏



この度、大津市消防団 日吉台分団発足30周年が迎えられましたのも諸先輩方、西分署様・西部地区4分団様（雄琴、坂本、下阪本、唐崎）及び地域の皆様に支えていただいたおかげです。心より御礼申し上げます。また、現役分団員の皆様にはご家庭、お仕事がある中で自らの時間を費やしてこの分団活動にご協力頂いていることを改めて感謝し、御礼申し上げます。そして、団員の方々のご家族の皆様、昼夜休日問わない消防活動にご理解頂き誠にありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

激甚化する自然災害、超高齢化社会、年々複雑化する社会構造等、従来の常識が通じない速さで時代が変化しているように感じます。そのような中でも大津市消防団 日吉台分団は時代に応じた形でこれからも「自分達の街は自分達で守る!」という精神を承継して参ります。ただ、現役分団員の皆様があってこそこの分団です。全国的にも消防団員は減少傾向にありますが、女性団員・機能別団員（予防活動、広報活動）・学生団員は増加しています。当分団も分団活動を続けやすいように創意工夫し、次なる新しい人材の確保に繋げていく必要があります。そこで、地域との更なる情報共有等新たな可能性も模索していきたいと考えております。皆様、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。